

自己評価結果公表シート（令和7年評価）

和泉緑ヶ丘幼稚園

本園の教育目標

・子どもたちが幼稚園生活を通して、「元気な子」「考える子」「思いやりのある子」に成長し、同時に生きる力を身につけていくことを目標とします。また、子どもたちの持つ様々な能力を引き出せるように、人的・物的環境を整え、創意工夫した保育を展開します。

・将来は一人前となり独立できるようになるため、小さい頃から自分の力をたよりに生活できるようにしていきます。

1、本年度に重点的に取り組む目標・計画

子どもたちの主体的な活動を促すため、教育活動での「～してはいけません」などの否定的な言葉を減らして「～しよう」「～してみよう」といった肯定的な言葉を増やしていきます。また、幼稚園連盟のオンライン研修見放題を活用して、教育の質向上を目指します。さらに、小学校への接続については青葉はつが野小学校をはじめとした5校園の連絡会議に参画し進めていきます。

2、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
① 教育の質の向上と研修	在籍5年以上の本務教員は、国の処遇改善の基準である60時間の研修をクリアできています。5年未満の教員の研修をさらに進め、教育の質向上につなげていきたいと考えています。またの推進も進めていきます。
② ICT・業務の効率化について	「ICT化について」を新たに評価項目としました。登降園管理やお手紙類の配布をICT化して、業務の効率化と確実性を高めています。また、会議録の作成を機械化するなども実施しています。あわせて正門扉の暗証番号式にしたり、キャッシュレス決済を導入したりして、業務の負担軽減を進めています。
③ 安全・安心面への対応	不適切な保育についての調査を7月に実施し、目標である工程的な言葉ができていないか評価しました。否定的な言葉を減らすことには、活動の場面によっては難しいこともありますが、経験のある教諭による助言や、相互に注意をしながら進めています。また、教育時間終了後おちつきのある保育活動にむけて、預かりクラスの再編やお迎えの方法を昨年度に引き続き検討しています。
④ 小中大学校や地域との連携	3年目となる青葉はつが野小学校・はつがのこども園・緑ヶ丘保育園・みなまつ保育園との幼保小連絡会議に参加し、幼小の接続について積極的に対応しています。今年度は一定の接続カリキュラムの作成に向け活動しています。

3、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

肯定的な言葉の増加により子どもたち一人ひとりの主体性を重視した教育活動が進められていると思います。また、教員研修においては、100時間を超える研修実績がある教員もおり、一定の研修実績をあげており、教職員の資質の向上がみられます。

ICT化については昨年設備導入を行い試行実施していましたが、今年度から本格実施を行っているところです。また、少しずつAIやCHATGTPの活用も始めています。登降園管理や手紙類の電子化に加え指導要録やカリキュラム管理の電子化も進めています。

小学校との接続・連携は昨年度に引き続き、青葉はつが野小学校を中心とした5校園で進めており、接続カリキュラムの作成に着手しています。

5、今後取り組むべき課題

課 題	考え方と取り組み方法
教育の質の向上	子どもたちの個別主体的な活動を重視し、一人ひとりのよいところ見つけて伸ばす教育活動を目指す一方で、自由度が高まりすぎて園での約束事や規律があとまわしにならないよう、取り組みを考える必要があると考えています。
ICT 化について・業務の効率化	登降園管理・手紙・カリキュラム・指導要録等一定の ICT 化が進みましたが、今後は電子化されたデータを活用し、場合によっては AI や CHATGTP 等も活用し、より質の高いものにしていく必要があると思います。また、ICT 化によってそれぞれの業務が本当に効率化が図れたかを検証し、さらに業務の仕訳を進めることも大切なことと思います。
安全・安心と、保育環境・施設の整備	今年度、屋根やテント・渡り廊下の補修、消防設備・エレベーターの大規模修繕等に加えて、一部 LED の導入や給食室コンベクターの導入を進めています。LED の全面導入などさらに施設整備の更新を進める必要があると考えています。そのためにも子ども家庭庁が従来の約束を守り、新地域区分の導入による給付費の増額が不可欠です。

6、学校関係者の評価

<p>・子どもたちが楽しく幼稚園生活を送れているのは、先生方の創意工夫のおかげだと思います。たくさんのご経験させていただいてありがとうございます。</p> <p>・キッズビューの導入、電子決済の導入など ICT 化したことで便利になる一方で、月間行事等のお手紙は紙媒体も合わせて欲しいという意見が多数ありました。兄弟がいる家庭では重要なお知らせをアカウントを切り替えて何度も確認することが大変だった。メモしたいができないという報告もあり、お知らせ内容によっては紙での配布の再開を検討していただけると、という感じです</p> <p>・安全・安心施設整備の件、子どもたちが生活する・先生方が生活する設備の充実が一番だと思います。もし余裕があれば駐車時用から幼稚園への階段等の導入も検討していただきたいです。近隣の方々からの苦情や車道を一部歩いていくのも少し危険なので案のいひとつとしてお願いします。</p> <p>・担任の先生の他にも沢山の先生方が、子ども一人一人を見てくださっているなと思います。たくさんのお園児が在籍している中で、すれ違うたびにいろいろな先生が名前を憶えてくださっています。きちんと見ていただいているんだと、安心できる理由の一つです。先生の名前も覚えたいので、名札を着用いただきたいなとたまに思います。</p> <p>・ICT 化について、スマートフォンですぐに配布物を確認できる点は、大変助かっています。一方で行事予定・給食表・学年だよりについてはスマートフォンの画面では細かく見づらいつと感ずる方もおられ、必要に応じて各家庭で印刷しているケースもあるようです。学年だよりも思い出として大切に保管したいというお気持ちを持っているご家庭もいらっしゃいました。</p> <p>・不適切保育については、保護者会での説明を伺い、真摯に向き合っておられる事を感じております。先生たちがこどもたちのことを考えてくださっていると感じております。日々の保育の様子からも、先生たちがこどもたちのことを考えてくださっているのが伝わっております。</p> <p>・保育時間中に教室に掲示されている製作物を処分する場面をお子さんが目にする事で悲しい気持ちになる場合があるため、可能であれば保育時間外など子どもたちの目に触れない形でご対応いただけると幸いです。</p> <p>・キーホルダーの件で。園のルールが「布製のもの一つのみ」となっている為、多くのご家庭が守っておられます。しかし一部で守られていないケースも見受けられ、それを理由に「どうして自分はダメなのか」とお子さんから言われ対応に困るといふ声もごさいます。注意喚起のお手紙を拝見しておりますが、園として何かご検討の余地があればありがたく存じます。先生方のご負担もあると思いますので、園のご判断にお任せできればと思っております。</p> <p>・日々こどもたちのためにご尽力いただいている先生方には、心より感謝しております。今後とも園と保護者が協力しながらより良い環境を作っていければ幸いです。</p>

7、財務状況

公認会計士の監査により適正に運営されていると認められています。ただし、施設設備の更新が迫っているものも沢山あり、物価高騰や最低賃金上昇による人件費の増大が続く中での優先順位を決めていく必要があると考えています。この状況で最も大きな課題は、子ども家庭庁が従前の約束を反故にし、いまだに公務員給与の地域区分改善が施設型給付に反映されておらず、施設の収入が確保できていないことにあります。